

安城市地区公園の将来像と方向性(案)

1. 将来像:地区公園の共通コンセプト

●地区公園を地域の核に位置付ける

公園に自然と集まり、有意義な時間を過ごすことのできる場所を目指す。

●公園も含め、まちづくりを考える

公園に集まるマンパワーが周囲のまちづくりにも広がっていく、地縁を結ぶきっかけ、端緒となる場所を目指す。公園として整備するのではなく、公園をまちづくりの中のひとつの要素として考える。「公園に遊びに来る」だけでなく、「使ってもらえる」場所を目指す。



地区公園共通のテーマ

● ウワサノパーク ～ここだけの話、〇〇な公園があるんだって～

→公園での行動や過ごし方が公園から発信される。公園のウワサ(口コミ・情報発信)が、安城市全体へ、また他市町村へと広がっていく。

● PARK DE CREATE ～公園からつくり出す〇〇～

→公園から何かを作り出す。それが市民生活を豊かにする、街が活気づく、安城市全体を元気にする。

● みんなのホーム(HOME)～ここでは安心してのびのび、やりたいことができるよ～

→街全体がわが家、市民は家族。公園を市民みんなの HOME にする。それを安城市全体に広げていく。

● スタートアップ With パーク 公園と始めるまちづくり

→公園と始めよう！何ができるのか？から考えて、やってみよう！ためしてみよう！それをまちに広げよう！

2. 各地区公園のコンセプト(案)

1)柿田公園

「柿田公園＝自宅の居間」として過ごしてもらうことをテーマに。お茶やコーヒーなどで一休みできる空間

- KAKITA チルパーク(ゆっくりする、くつろぐ、まったりする)
- HYGGE パーク(ほっこりとした時間を過ごす)

2)秋葉公園

冒険遊び場や散歩でアクティブに過ごしたくなる場所に。気持ちの良い樹林地やプレイパークの拠点などがある。

- AKIBA バイタリティフィールド(いきいきとした生命力、活力、活気)
- 遊びを CREATE(想像力をつくり出す)

3)堀内公園

こども学生もおとなもいつまでも楽しめる公園に。遊びの合間に休むだけでなく飲食も楽しみに出かけられる空間。

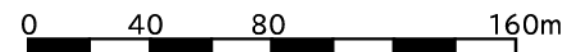
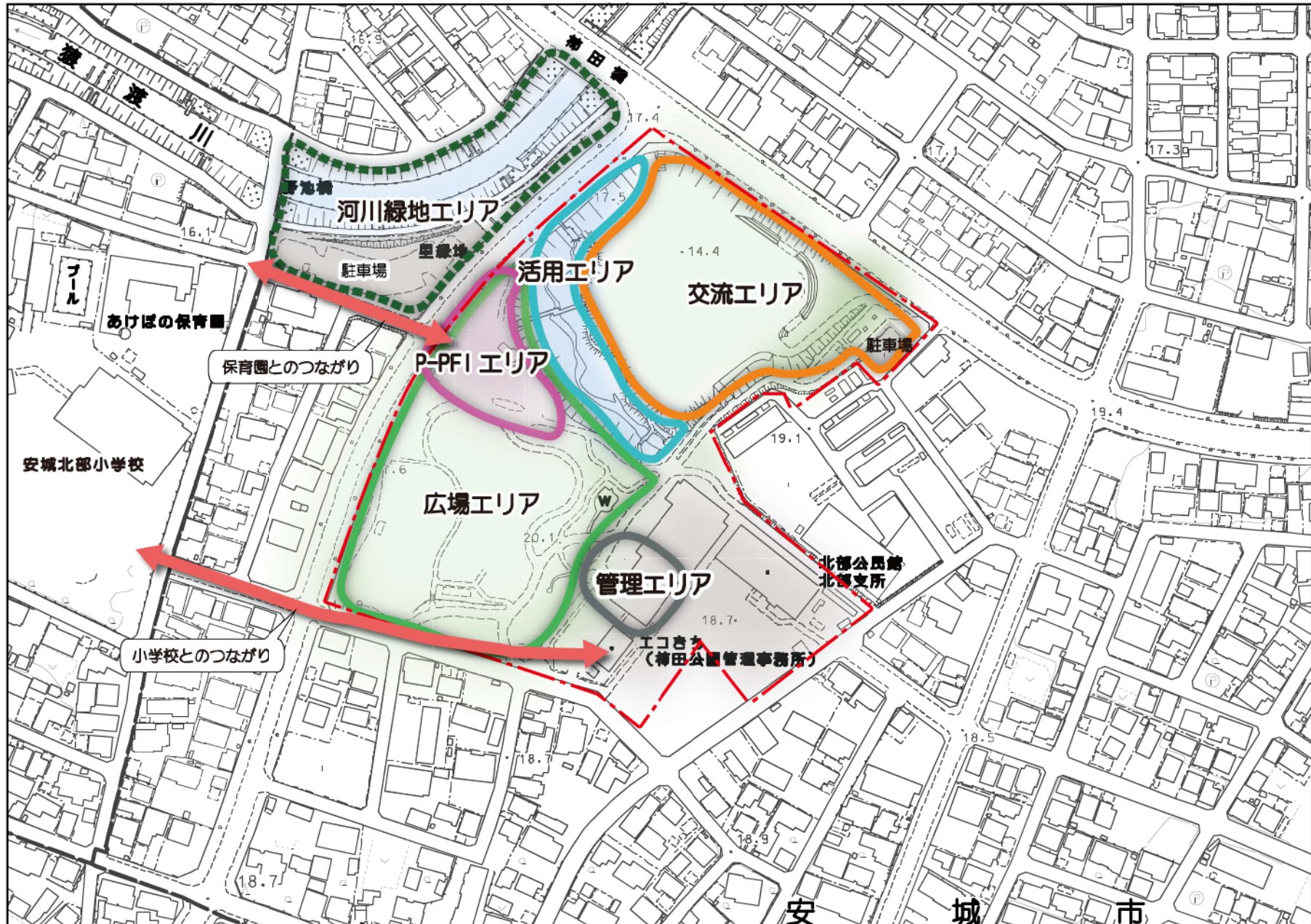
- HORIUCHI ファミリアパーク(みんなに親しまれている)
- ALLES パーク

4)川島河川敷公園

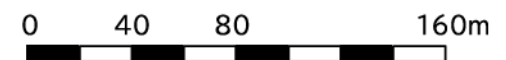
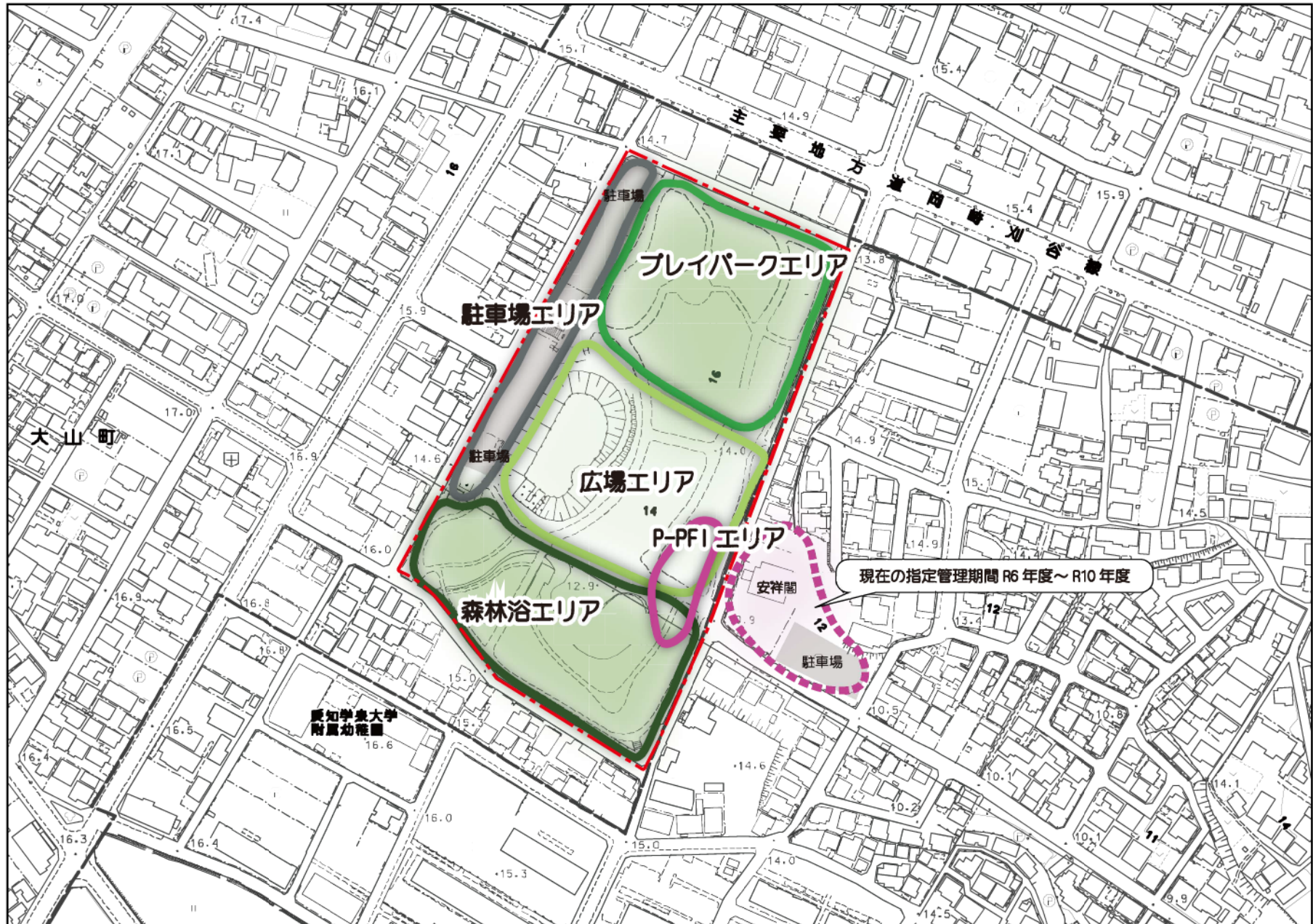
広い空、空間で「外」を楽しむ公園に。様々なアウトドア用品やスポーツ用品のレンタルも可能。

- KAWASHIMA ネイチャーフィールド
- Outdoor Field KAWASHIMA

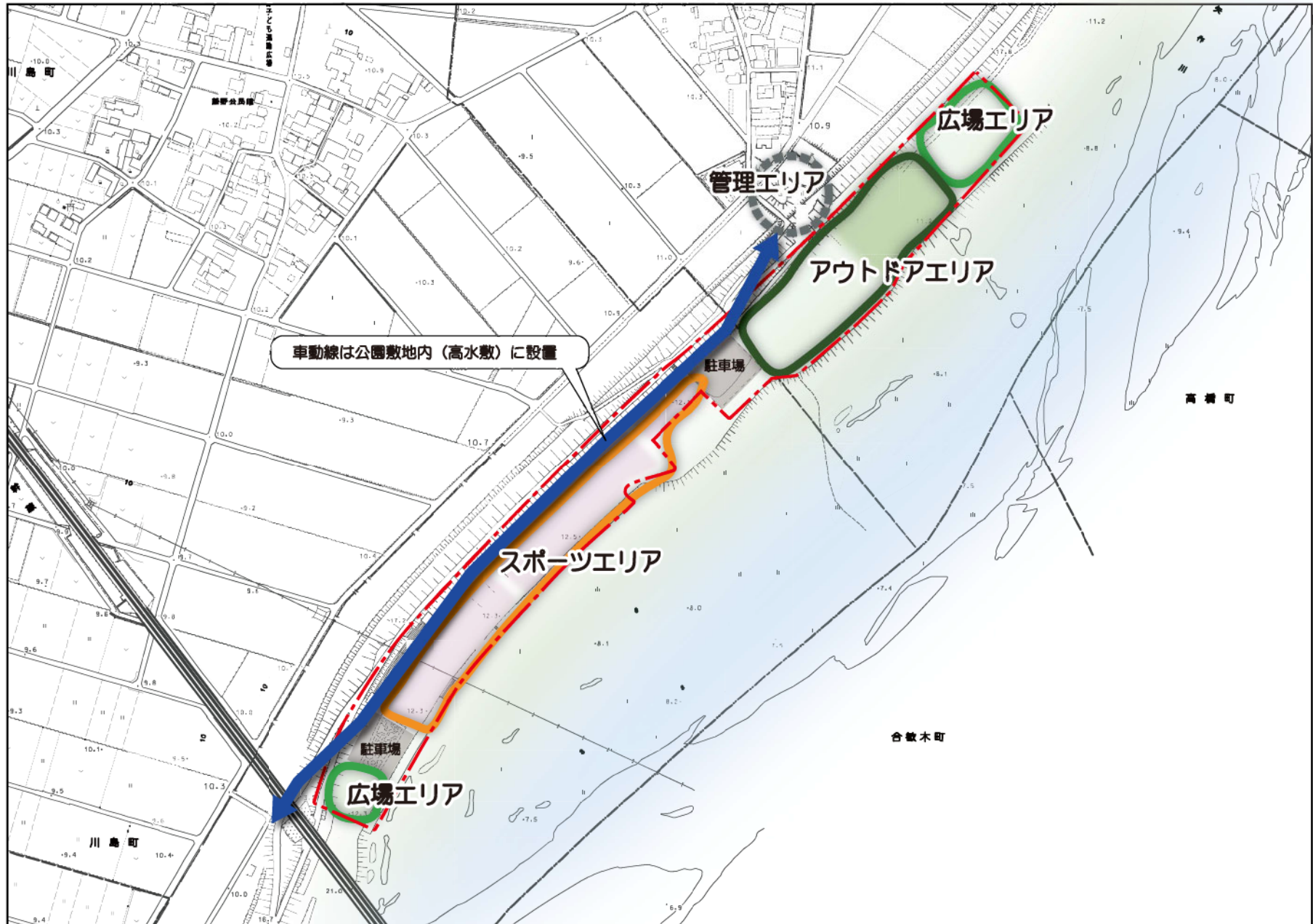
柿田公園



秋葉公園



川島河川敷公園



0 40 80 160m